

事業 優先順位		8 細事業:健康手帳交付事業				整理 番号		04					
目的		健康診査や健康教育の記録、その他健康の保持のために必要な事項を手帳に記載することにより、自らの健康管理と適切な医療に資すること。											
目標		医療の記録や健康診査、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の記録、健康についての知識などの内容を記載した健康手帳の交付を行う。交付数2000部											
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	昭和60年度	根拠 法令	健康増進法 第17条							
事業費・財源				平成24年度	比 較			平成24年度	比 較				
	事業費 (決算額) (千円)			253		コスト情報・従事職員数	総コスト (千円)		1,047				
	財源内訳	一般財源			78			内訳	事業費		253		
		国府支出金			175				人件費	794			
		地方債			0					公債費	0		
		その他特定財源			0				一人あたり (円)		9		
					0			世帯あたり (円)		22			
					0			参考	職員数 (人)		0.10		
					0				再任用職員数 (人)		0.00		
		今後の方向性		健康手帳の普及啓発。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	保健事業参加者で手帳交付を希望する40歳～64歳の市民								
	A	A	B										

事業 優先順位		3 細事業:こころの健康づくり事業				整理 番号		06		
目 的		こころの健康づくりを推進し、自殺者の減少をめざす。								
目 標		市民向け講演会やストレスチェック、街頭キャンペーン、パンフレット配布などによる啓発、こころの相談会、職員向けの研修会を行う。全事業参加者数2600人								
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	平成21年度	根拠 法令	自殺対策基本法 第4条				
事業費・財源			平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数			平成24年度	比 較	
	事業費（決算額）（千円）		2,292			総コスト（千円）		10,227		
	財 源 内 訳	一般財源	0			内 訳	事業費	2,292		
		国府支出金	2,292				人件費	7,935		
		地方債	0				公債費	0		
		その他特定財源	0				一人あたり（円）		91	
			0				世帯あたり（円）		217	
			0			参 考	職員数（人）	1.00		
			0				再任用職員数（人）	0.00		
今 後 の 方 向 性		ゲートキーパー養成講座の充実を図る。他部署との連携を進める。								
評 価	妥当性	効率性	有効性	対 象 者	啓発に関しては全市民 相談会に関しては、うつ予防に関して相談のある市民 約10人					
	A	A	B							

細事業：健康手帳交付事業

1. 健康手帳交付事業

特定健診・保健指導の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的に、40歳以上の健康診査の受診者、健康相談の利用者、健康教育の受講者に健康手帳を交付した。

40歳～64歳の市民には健康手帳を、65歳以上の市民には高齢者用の健康づくり手帳を交付した。

手帳の内容は、特定健康診査の記録、特定保健指導の記録、歯周疾患検診の記録、骨粗しょう症検診の記録、がん検診の記録、特定健康診査の検査内容の説明、血圧と体重の記録、健康教育の記録、健康相談の記録、機能訓練の記録、訪問指導の記録、医療の記録及び健康づくりに関するワンポイントアドバイスとなっている。

種 類	対象者	冊数
健康手帳	40歳～64歳	2,500
健康づくり手帳	65歳以上	1,110

細事業：こころの健康づくり事業

1. こころの健康づくり啓発事業

自殺者が増加している現状や自殺防止対策の必要性を啓発し、こころの健康づくりを推進するために、講演会や街頭で自殺防止キャンペーンを実施した。また、いきいき健康展やフォレスト三日市においてストレス測定を実施した。世界自殺予防デーの9月、自殺対策強化月間の3月に集中して事業を実施した。

種 類	実施時期	人 数
街頭キャンペーン	9月・3月	2,000
機器によるストレスチェック	9月2回 3月	516
講演会	3月	302
パンフレット配布	通年	3,410
公用車にマグネットによる啓発	通年	

2. こころの相談会

自殺と関連が深いうつ対策として、臨床心理士によるこころの相談会を実施した。自殺はさまざまな要因が重なることが多いため、総合的な相談であるくらしの総合相談と同時開催（年2回）と保健センター（1回）、ストレス測定時（2回）で実施した。

種 類	回数	人 数
こころの相談会	5	9

3. 人材育成

市民対象に相談業務に従事している相談員や市役所職員を対象に、自殺対策のためのゲートキーパー養成研修を実施するとともに、テキストとなるゲートキーパー手帳を作成した。

種 類	実施時期	人 数
相談業務従事者対象	12月に2回	45
市職員対象	1月	74

※ゲートキーパー

… 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な相談窓口につなげ、見守る人のことをいう。